

維新&みんなの党 正体見たり機密法 修正協議で逆に改悪

自民、公明の与党と、日本維新の会、みんなの党などが秘密保護法案「修正」の交渉を行い、修正と呼ぶにも値しない合意で、法案の採決、衆院通過を強行しようとしています。見せかけだけの「偽装」で、野党の中から賛成が得られたと採決を強行する与党も、先を争うように与党との「修正」協議を進め、偽

装に手を貸し、自民党の「補完政党」ぶりをあらわにしている両党の責任も重大です。

秘密保護法案は、「安全保障」に支障があるとの口実で、「行政機関の長」が外交、軍事、スパイ、テロなどに関連する行政情報を「特定秘密」に指定し、私たち公務員などがそれを漏らせば、最高10年の重罰を科すと

いう弾圧法です。与党とみんなの党が合意した、「特定秘密」を指定する基準を首相が示し、「行政機関の長」が「特定秘密」を指定したり解除したりするさい首相が「第三者機関的」に関与するという「修正」は、なんの制約にもなりません。各閣僚が「特定秘密」を指定するのには、閣僚を指揮・監督する首相が「第

三者機関的」に関与するなどということは成り立ちません。「修正」は「見せかけ」と呼ぶのさえはばかられるごまかしで、みんなの党の渡辺喜美代表が「安倍首相とはもともと信頼関係がある」と公言するように、安倍首相と手を組む単なる方便です。

日本維新の会が、「特定秘密」を指定する統一基準をチェックする第三者機関を設置するというのも、与党の回答は法案の付則に盛り込んで検討するというだけで、その実態も不明です。なんの保障にもなりません。加えて、秘密の指定期間を30年から60年に延長するなど逆に改悪修正となっています。しかも最長60年を超えて延長できる「例外7項目」の合意をしており、その最後に「これらにあげる情報に準ずるもので、政令に定める重要な情報」とあります。そうすると、「例外」が際限なく広がり何の歯止めにもなりません。

貸出用教材を購入しました



鑑賞入門



鑑賞入門



「小学生のI付-」「子どもI付-」
(DVD各7曲収録)



泉北教組では、主任手当拠出金で和太鼓、エイサーセット、教材DVD等を購入し、無料で貸し出しています。現在は、主任手当が廃止されたため、新たな拠出金はありませんが、過去の拠出金の残金で教材の購入を続けています。

今回、左記の教材を購入しました。貸し出し希望や、他に教材購入希望がありましたら、泉北教組まで。